

令和7年中の火災・救急・救助概要について

火災概要

令和7年の火災件数は15件で、前年に比べ3件の増加となりました。

建物火災は12件で、前年に比べ3件の増加。そのうち住宅火災については7件で前年に比べ4件増加しました。また、火災による死傷者は6名（死者1名、負傷者5名）で、いずれも建物火災において発生しています。

出火原因としては「たばこ」「ストーブ」「電気機器」「煙突・煙道」などとなっており、火災損害額については151,653千円で、前年に比べ105,965千円増加しています。

区分		年	令和7年	令和6年	増減
火 災 件 数	建 物 火 災	12(住宅7)	9(住宅3)	3(住宅4)	
	林 野 火 災		1		▲ 1
	車 両 火 災	1	2		▲ 1
	船 舶 火 災				0
	航 空 機 火 災				0
	そ の 他 火 災	2			2
	合 計	15	12		3
焼 損 棟 数		21	12		9
り 災 世 帯 数		16	5		11
面 焼 積 損	建 物 床 面 積 (m ²)	2,184	669	1,515	
	建 物 表 面 積 (m ²)	25	97		▲ 72
	林 野 (a)		4		▲ 4
損 火 害 額 災 ～ 種 円 別	建 物	建 物	91,253	23,652	67,601
		収 容 物	60,110	20,536	39,574
	林 野				0
	車 両		269	1,500	▲ 1,231
	そ の 他		21		21
	合 計		151,653	45,688	105,965
	死 者 数		1		1
負 傷 者 数		5	3		2
焼 火 損 元 程 建 度 物	全 焼	4	2		2
	半 焼	2	1		1
	部 分 焼	2	2		0
	ぼ や	4	4		0

救急概要

令和7年の救急出動件数は5,468件で、前年に比べ119件、2.2%の上昇となりました。

1日あたりの平均件数は約15件でした。

5年前の同時期と比較すると、1,741件、46.7%の増加となりました。全体の搬送者のうち、69.7%が65歳以上の高齢者でした。搬送人員は4,774人で、小松市民の約22人に1人が利用したことになり、搬送した傷病者のうち、43.0%が軽症者でした。

区分	年	令和7年	令和6年	増減
救急出動件数	急 病	3,417	3,429	▲ 12
	交 通 事 故	304	294	10
	一 般 負 傷	1,040	917	123
	転 院 搬 送	533	505	28
	そ の 他	174	204	▲ 30
	合 計	5,468	5,349	119
救急搬送人員	急 病	2,945	3,033	▲ 88
	交 通 事 故	256	241	15
	一 般 負 傷	952	835	117
	転 院 搬 送	531	504	27
	そ の 他	90	127	▲ 37
	合 計	4,774	4,740	34
傷病搬送年齢別	高 齢 者	3,328	3,304	24
	成 人	1,143	1,113	30
	少 年	127	130	▲ 3
	乳 幼 児	174	192	▲ 18
	新 生 児	2	1	1
傷病搬送程度別	死 亡	123	160	▲ 37
	重 症	429	449	▲ 20
	中 等 症	2,170	2,020	150
	軽 症	2,052	2,111	▲ 59

救助概要

令和7年の救助出動件数は58件で、前年に比べ2件減少しています。

出動の約半数は交通事故によるものです。

救助活動件数は45件で、前年に比べ5件増加。救助人員は45人で、前年に比べ2名増加しました。

区分	年	令和7年	令和6年	増減
出 動 件 数	58	60		▲ 2
活 動 件 数	45	40		5
救 助 人 員	45	43		2